

約5か月間の矮性イネの栽培実証結果を確認 ～10月31日の「ZET-campus」で解説と収穫体験～

- 京都府では、「ZET-BASE KYOTO」において、脱炭素テクノロジースタートアップの未来食研究開発センター(株)とともに、矮性イネ「京のゆめ」の栽培実証を約5か月間にわたり実施してきました。
- 10月31日の「ZET-campus」で、本実証の解説と収穫体験ワークショップ等を行いますので、取材をお願いします。

1 日 時

令和8年10月31日（土）9時30分～12時

2 場 所

ZET-BASE KYOTO

（向日市寺戸町山縄手21番1 京都フィナンシャルグループ MUKOU ビル3階）

3 内 容

- ・矮性イネ「京のゆめ」の成長記録の解説

講師：未来食研究開発センター(株) 代表取締役(CEO)

増村 威宏 氏
山本 真生 氏

- ・収穫体験ワークショップ（稲刈り、脱穀、粳すり等）

令和8年6月13日（土）の植え付け体験で参加者が植え付けたイネを収穫

- ・矮性イネ「京のゆめ」の試食

4 参 加 者

令和8年6月13日（土）開催の植え付け体験に参加した方（30名程度）

5 主 催

京都府

（共催：(株)ツクリエ(ZET-BASE KYOTO 施設活用団体)、未来食研究開発センター(株)）

<参考1：実証事業 概要>

（1）目 的

脱炭素スタートアップ企業等の集積・交流拠点である「ZET-BASE KYOTO」を実証フィールドに、脱炭素スタートアップ企業の実証事業を進めることで、社会実装を後押し、ゼロカーボンものづくりによるゼロカーボンのまちの形成を目指す。

（2）実施期間

令和8年6月3日（水）～10月31日（土）

（3）場 所

ZET-BASE KYOTO 内

（4）実証企業

未来食研究開発センター(株)（代表取締役(CEO) 増村 威宏）

(5) 内 容

○一般環境下での栽培実証

- ・研究施設ではなく、一般的な屋内空間での環境下において、草丈約 20cm の矮性イネ「京のゆめ」の栽培実証を実施し、炭素固定量等を確認
- ・イネの安定的な生育に必要な温度管理や水分供給、肥料条件等を把握

○成長過程の記録

- ・栽培期間中は定点カメラを設置し、発芽から収穫に至るまでの過程を継続的に撮影・記録
- ・成長過程を可視化し、来場者の理解促進に活用

(6) そ の 他

府立向陽高等学校が探究学習（アントレプレナーシップ教育）の一環として、本実証事業の成長観察等に参加

<参考 2：実証企業 概要>

会 社 名：未来食研究開発センター(株) 設 立：2022 年 6 月
所 在 地：京都府相楽郡精華町大字北稻八間小字大路 84
代 表 者：増村 威宏（京都府立大学学長特別補佐） 従業員数：3 名
事業内容：矮性イネの増産技術及び教育ツールの開発・普及 等

<参考 3：矮性イネ「京のゆめ」について>

背丈わずか 20cm、約 3 ヶ月という短期間で収穫可能なイネで、屋内の多段栽培システムとの組み合わせにより、従来の屋外栽培と比べて単位面積あたり 10 倍以上の収量を目指すバイオものづくり。

また、完全無農薬で、肥料使用も最小限に抑えられるうえ、栄養分の外部流出を防ぐ閉鎖型環境で管理されるため、環境負荷が低いことが特徴。こうした持続可能な生産技術により、農業由来の温室効果ガス排出削減にも貢献することが期待されている。



(ZET-BASE KYOTO での栽培の様子)

<参考 4：ZET-campus の開催状況/今後の予定>

○開講式、食に関するワークショップ

日 程：令和 8 年 4 月 26 日（日）（会場：ZET-BASE KYOTO）

内 容：・開講式

・ワークショップセミナー

「今を活かし、次代に紡ぐ持続可能なまちづくり～京料理 木乃婦
高橋主人から学ぶ～」

講 師：京料理 木乃婦 三代目主人 たかはし たくじ 高橋 拓児 氏

○バイオものづくりに関するワークショップ

日 程：令和8年6月13日（土）（会場：ZET-BASE KYOTO）

内 容：矮性イネの植え付け体験ワークショップ

講 師：未来食研究開発センター(株) 代表取締役(CEO) 増村 威宏 氏

○脱炭素テクノロジー体験イベント

日 程：令和8年7月29日（水）（会場：ZET-BASE KYOTO）

内 容：脱炭素スタートアップ企業等8社の技術や、府立桂高等学校の研究活動を体験

講 師：(株)LEP、(株)colourloop、(株)京都銀行、(株)GCJ、(株)Seed Bank、(株)七十二侯、(株)TSK、未来食研究開発センター(株)、京都府立桂高等学校

○脱炭素テクノロジー視察ワークショップ

日 程：令和8年8月5日（水）（会場：コカ・コーラ ボトラーズジャパン京都工場）

内 容：脱炭素テクノロジーを活用する現場見学や脱炭素化に関する課題解決のアイデアを考えるグループワークの実施

講 師：コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)、ライノフラックス(株)

※今後の開催については、別途お知らせします。

【本報道発表に関するお問合せ】

商工労働観光部産業振興課 課長 森本 TEL 075-414-4846

課長補佐兼係長 今仲 TEL 075-414-4849

